

主よ、急いで来てください。破壊があふれた場所に、
今とは違う歴史を描き、実現する希望があふれますように。

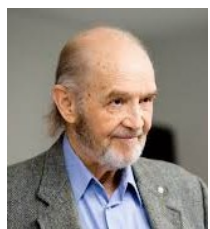
(教皇フランシスコのスピーチ 平和のための集い 広島 2019年11月24日)



「正戦」としての日中戦争

シンポジスト：三好千春さん

援助修道会会員。南山大学人文学部キリスト教学科教授。専門は近代日本カトリック教会史。著書に『時の階段を下りながら』(オリエンス研究所)、『戦時下のキリスト教』(教文館、共著)ほか。



『禅と戦争』禅仏教の戦争協力

シンポジスト：ブライアン・アンドレー・ヴィクトリアさん

オックスフォード大学付属仏教研究所 上席研究員。専門は仏教社会学(禅)。主な著書・論文等に『禅と戦争』(光人社出版)、Zen Terror in Prewar Japan: Portrait of an Assassin, Rowman & Littlefield Publishers、『禅とテロ』2025年12月邦訳刊行予定ほか。



コーディネイター：松浦悟郎さん

カトリック名古屋教区司教

戦後 80 年シンポジウム

「宗教の戦争責任」

日時：11月22日(土) 13:30~16:30(申し込み不要)

場所：河原町カトリック会館大ホール(京都市中京区河原町通三条上ル下丸屋町423)

宗教は、人々に平和をもたらすものでありながら、過去において戦争を肯定し、戦争協力を行ったことがありました。その事例や背景を学びつつ、世界の中から戦争がなくなる現代において、宗教が果たすべき責任とは何なのかを考えていきたいと思います。

主催：カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター

☎075-223-3340(月・火・木 10時~17時) ✉bukatu@kyoto.catholic.jp